

《健康麻雀を学ぼう ②》

★ステップ3・・・基本5役の覚え方

【ステップ3-3 基本5役の覚え方】

役の総数は全部で37役。

その中で8割の出現率のある「基本5役」を覚えましょう。

①役牌

②断么九（タンヤオ）

③門前自摸（メンゼンツモ）

④立直（リーチ）

⑤平和（ピンフ）

①②と③④⑤ではその特徴に大きな違いがあります。

それはメンゼンと鳴きの両方で成立する役と、メンゼンのみ成立する役とに分かれることです。下図をご覧ください。（この表は絶対覚えてください）

【ありありく喰いタンあり、後付けあり】ルールの場合】

「鳴き」○ メンゼン○	「鳴き」× メンゼン○
①役牌	③門前自摸（メンゼンツモ）
②断么九（タンヤオ）	④立直（リーチ）
	⑤平和（ピンフ）

【なしなしく完全先付け】ルールの場合 △最初に鳴いた場合有効】

「鳴き」△ メンゼン○	「鳴き」× メンゼン○
①役牌	②断么九（タンヤオ）
	③門前自摸（メンゼンツモ）
	④立直（リーチ）
	⑤平和（ピンフ）

【ステップ3-3 ①役牌とは（ありありルールで解説）】

まずは役牌の解説から。これは3枚集めると「役」になる牌です。

3枚集めるとは、のように同じ牌でなければいけません。
メンゼンでも鳴いてもOKです。全部で以下の7種類。

 読み方は順に、「ハク、ハツ、チュン」。この3種類はどんな時でも役になります。

 読み方は順に、「トン、ナン、シャー、ペー」

この4種は役牌になる時とならない時があります。

ここでは詳しくは説明しませんが、とりあえずそう覚えておけばOKです。

【ステップ3-3 ②断么九（タンヤオ）とは（ありありルールで解説）】

このタンヤオは簡単です。「2から8までの数牌」だけで作る役（つまり、1・9牌及び字牌を全く使わないということ）です。

下図をご覧ください。すべて2から8の牌で構成されています。



では下図ではどうでしょう。があるためにタンヤオにはなりません。



このように①役牌②タンヤオは鳴いても成立する役なので、とても使いやすい役と言えます。